

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考
砕石	ARC-40	路盤工	現場から40kmの範囲内の再資源化施設	
砕石	RC-40	基礎砕石	現場から40kmの範囲内の再資源化施設	

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名 / 施設名称	(有)池田産業残土捨場		
工事場所 / 施設所在地	小千谷市上片貝地内		
連絡先			
受入時間			
受入費用	1,300円/m ³		
仮置場所の有無			
備考			

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	アスファルト廃材	コンクリート廃材	
処理施設名称	(株)北越リサイクル	(株)小千谷コンクリートリサイクルセンター	
施設所在地	長岡市西川口	小千谷市大字川井字下島	
連絡先	0258-83-2421	0258-89-2525	
受入時間	8:30～17:00	8:00～17:00	
受入費用	1,300円/t	無筋2,000円/t 有筋2,400円/t	
備考			

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の指示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発生後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、すみやかに発注者に報告し、協議すること。